

令和４年度 図書館全体計画

学 校 の 教 育 目 標
よく考え、仲間とかかわって行動できる子

願う子供の姿

よく考える子（知）

心豊かな子（徳）

体をきたえる子（体）

学校
課題

◎読書センター，学習センター，情報センターとしての機能を充実し，利活用を図る。
・読書量・読書内容の個人差に応じた指導 ・教科，領域との関連を図った指導計画の作成と実践資料の蓄積
・第２図書館の環境整備と情報活用能力を育てる指導

図書館教育の重点

目的をもって図書館を利用し，読書に親しむ子を育てる。

図書館教育で望む姿

確かな学力（知）

豊かな心（徳）

体をきたえる子（体）

・読書に親しみ，好きな本を見つけ，友だちに本の紹介をして読書の輪を広げることができる。
・本やＩＣＴを活用して調べ学習ができる。
・本や情報機器を大切に扱うことができる。

・必要な知識や情報を得ることができる。
・自分の考えを広げることができる。
・情報活用能力（収集・選択・活用する力）を身に付けることができる。

・最後まで本を読み通すことができる。
・正しい姿勢で読書ができる。
・健康に対する正しい知識を身に付け，実践できる。

領域別図書館教育の重点と
実践の場・方途

各 教 科 の 指 導

道 徳 の 時 間 の
指 導

特 別 活 動 の 指 導

総合学習の指導

領 域 外 の 指 導

・考えながら読み進め，感想をもつ。
・課題や疑問をもち，資料を活用して解決する
・関連して読み広げ，読書の幅を発展させる。
・情報を収集，選択，活用できる。
・学習指導案に関連図書を位置づける。

・主人公の心情を読み深め，自分の生活を振り返る。
・情報モラル，著作権について理解させる。
・図書館の利用を通して公共心をもつ。

・図書館の役割や仕組み，利用方法を理解させる。
・読書を通して，主体的に学び続ける態度を身に付けさせる。

・地域を知り，地域に働きかけようとする態度を育てるとともに，よりよい発信の仕方を身に付けさせる。

・余暇を読書に充てる工夫をする。

＜国語＞教科の関連の読み物へ読み広げ，感想を書いたり話したりする。
辞書を正しく使う。
＜社会＞社会の仕組み，歴史，地理等の資料を活用し，学習の発展を図る。
＜算数＞算数に興味を持たせる資料を活用する。
＜理科＞自然の仕組みに対する興味と感心をもち，自ら調べようとする。
＜生活＞身の回りの生活について，体験したことを関連資料によって調べ深める。
＜音楽＞音楽家の伝記や楽譜等を利用して，音楽生活をより豊かなものにする。
＜図工＞鑑賞を通して，より豊かな美術的心情を深め，感想画や物語の絵を描く。
＜家庭＞衣食住に対する正しい知識を身に付け，実践する。
＜体育＞健康に対する正しい知識を身に付け，実践する。

１年
ハムスターの赤ちゃん
（Ｃ生命の尊さ）
２年
虫が大好き
（Ｄ虫が大すき）
３年
赤ちゃんもごはん食べてる
よね（Ｄ新しい命）
４年
花さき山
（Ｄ畏敬の念）
５年
漫画家 手塚治虫
（Ａ個性の伸長）
６年
杉原千畝
（Ｃ公正・公平）

＜学級活動＞
・学級文庫，学級行事等を通して図書館活動への理解を深め，読書への興味と関心を持つ。
・進んで図書館を利用し，読書習慣を身に付ける。
＜児童会活動＞
・委員会活動を通して，図書館の機能を知り，積極的に経営に参加する。
・行事に合わせた広報活動により利用者を広げる。
・多読賞の表彰をする。
＜クラブ活動＞
・活動に必要な知識を進んで得る。
＜学校行事＞
・図書館行事に参加することで，利用の意欲を持つ。

・地域を知り，地域に働きかけようとする態度を育てるとともに，よりよい発信の仕方を身に付けさせる。
・第２図書館を整備し，郷土関連などの資料（パンフレット，新聞等）の充実を図る。
・情報活用能力（収集，選択，活用する力）を育てる。
・ＩＣＴを積極的に活用する。
・過去の実践資料やパスファインダーを蓄積し，活用する。

＜朝読書＞
・月，金曜日の朝登校した子から読書をする習慣を身に付ける。
・読み聞かせボランティアが中心になり，年間を通して計画的に読み聞かせを行う。
・図書委員が担当クラスで読み聞かせを行う。
＜休み時間＞
・教師による「お話バイキング」を行う。

主 体 性 を 育 て る 学 年 ・ 学 級 経 営

・図書委員会の児童による，自治的・主体的な図書館経営。
・学年・学級の学習内容に合わせた並行図書の設置。
・図書係による，自治的・主体的な読書活動。

家 庭 ・ 地 域 と の 連 携

・図書館便りを発行し，家庭への啓発や報告をする。
・保護者と協力して家読週間に取り組む。